

I. 福音は聖書におけるすべての真理を含みます。ですから、聖書全体は神の福音です:

エペソ1:13 あなたがたは真理の言、すなわちあなたがたの救いの福音を聞き、また彼の中で信じ、彼の中であなたがたはまた約束の聖霊で証印を押されました。

コロサイ1:5 それらは、あなたがたのために天に蓄えられている望みから来るのであり、その望みについては、あなたがたは以前に、福音の真理の言の中で聞いています。

今日、主の福音が広まることのできないのは、私たちが真理を知らないからです。真理は福音です。私たちが至る所で真理を語るなら、実は至る所で福音を宣べ伝えているのです。全聖書は神の福音ですが、私たちはこれを理解していないかのようです。今、私たちはこの状況を一変させて、私たちの間にいるすべての聖徒が、どのように真理を語り、福音を宣べ伝えるかを知らなければなりません。これは、主が彼の願いを成就するための広い道を備えます。

A. 真理は福音であり、真理の光は福音の光です。今日、召会の唯一の使命は、福音を宣べ伝えることです。福音の内容は真理です。

マルコ1:15 そして言われた、「時は満ちた。神の王国は近づいた。悔い改めて福音を信じなさい」。

ヨハネ8:12 こうして、イエスは再び彼らに語って言われた、「私は世の光である。私に従う者は、決して暗やみの中を歩くことがなく、命の光を持つ」。

ヨハネ8:32 またあなたがたは真理を知る。そして真理はあなたがたを自由にする」。

I テモテ2:4 神はすべての人が救われて、真理の全き知識へ至ることを願っておられます。

実は福音は、聖書の中のあらゆる真理を含んでいます。今日、聖書は出版され、全世界に広く行き渡っています。多くの人が聖書を持っていますが、彼らにとって、聖書は開かれておらず、また容易に理解することもできません。彼らはそれを読むとき、思いを用いてそれを理解します。ですから、彼らが霊的な奥義を見る方法はありません。…福音の内容は真理です。真理は、私たちに一つの中心点を告げています。三一の神(父、子、霊)が、ご自身を私たち(罪深い、三部分から成る人)の中へと分与して、私たちの罪が赦され、私たちが神の命を受け、神ご自身を私たちの中に持って、神の子たちへと造り変えられるということです。これが真理であり、福音です。私たちは真理を学ばなければなりません。

B. 神の福音は全旧約の成就です。福音は、約束、予言、予表を成就し、律法を除き去りました。これが、福音の満ち満ちた定義です。

マルコ1:1 神の子、イエス・キリストの福音の初め。14 ヨハネが引き渡された後、イエスはガリラヤに来て、神の福音を宣べ伝え、創3:15 また、私は敵意を置く。おまえと女との間に、またおまえの子孫と女の子孫との間に。彼はおまえの頭を打ち砕くが、おまえは彼のかかとを打ち砕く」。21 エホバ・神は、アダムとその妻のために皮の衣を作り、彼らに着せられた。

II. 四福音書は福音の各面を啓示しています:

- A. マタイによる福音書で、王国の福音の目標は、人々を神の中へともたらしめて、天の王国の国民とすることです。
マタイ28:19 だから、行って、すべての諸国民を弟子とし、父と子と聖霊の名の中へと彼らをバプテスマして、
ガラテヤ5:21 ねたみ、泥酔、宴楽、そのような類の事柄です。それらについて、私は前にも言っておいたように、今もあらかじめ言っておきます。そのような事を行なう者は、神の王国を継ぐことはありません。
- B. マルコによる福音書で、福音の宣べ伝えは、旧創造の一部分を新創造へともたらすことです。
マルコ16:15 イエスは彼らに言われた、「全世界に行って、すべての造られたものに福音を宣べ伝えなさい。16 信じてバプテスマされる者は救われる。しかし、信じない者は罪に定められる。
ローマ8:20 なぜなら、被造物が虚無に服従させられたのは、自分の意志からではなく、それを服従させた方によるのであって、21 それは被造物自身も、朽ち果てる奴隷状態から自由にされて、神の子供たちの栄光の自由に入る望みがあるからです。
ガラテヤ6:15 割礼も無割礼も重要ではありません。重要なのはただ新創造です。
- C. ルカによる福音書には、罪の赦しの福音があり、贖われた人を神の定められた祝福に連れ戻します。
ルカ24:46 イエスは彼らに言われた、「こう書かれている、『キリストは苦しみを受けて、三日目に死人の中から復活する。47 そして、罪の赦しを得させる悔い改めが、彼の御名の中で、エルサレムから始まって、すべての諸国民に宣べ伝えられる』。48 あなたがたはこれらの事の証し人である。
ルカ1:77 罪の赦しによって、彼の民に救いの知識を与えます。78 私たちの神のあわれみ深い慈しみのゆえに、昇る太陽が高い所から私たちを訪れ、79 暗やみの中に、また死の影の中に座っている者に輝き、私たちの足を平安の道へと導きます」。
ガラテヤ3:14 それは、アブラハムの祝福が、キリスト・イエスの中で異邦人に及ぶためであり、私たちが信仰を通して、約束されたその霊を受けるためなのです。
- D. ヨハネによる福音書には、永遠の命があり、私たちにキリストのからだの建造、すなわちキリストの増し加わりのために、実を結ばせます。
ヨハネ20:31 しかし、これらの事が書かれたのは、イエスがキリスト、神の御子であることを、あなたがたが信じるためであり、そして信じて、彼の御名の中で命を持つためである。
15:16 あなたがたが私を選んだのではない。むしろ、私があなたがたを選んだのである。そしてあなたがたを立てた。それは、あなたがたが出て行って実を結び、あなたがたの実が残るためであり、あなたがたが私の名の中で父に求めるものは何でも、彼があなたがたに与えてくださるためである。
ローマ12:4 一つの体の中には多くの肢体があり、そしてすべての肢体が同じ機能を持っていないように、
5 わたしたちも数は多いのですが、キリストの中で一つからだであり、そして各自は互いに肢体なのです。**2・火**

Ⅲ. 福音とは神の王国の福音であることを、私たちが見るのは極めて重要です:

マタイ4:17 この時からイエスは宣べ伝え始めて言われた、「悔い改めよ、天の王国は近づいたからだ」。
24:14 そしてこの王国の福音は、すべての民に対する証しのために、人の住む全地に宣べ伝えられる。
それから終わりが来る。

28:18 イエスは来て、彼らに語って言われた、「天においても地においても、いっさいの権威が私に与えられている。19 だから、行って、すべての諸国民を弟子とし、父と子と聖霊の名の中へと彼らをバプテスマして、

A. 神の王国は神聖な領域であり、神が彼のご計画を成し遂げるためです。神の王国は、神が彼の権威を行使して、彼が意図することを達成することができる領域です:

ヨハネ3:3 イエスは彼に答えて言われた、「まことに、まことに、私はあなたに言う。人は新しく生まれなければ、神の王国を見ることはできない」。5 イエスは答えられた、「まことに、まことに、私はあなたに言う。人は水と霊から生まれなければ、神の王国に入ることはできない。

マタイ12:28 しかし、私が神の霊によって悪鬼どもを追い出しているのであれば、神の王国はあなたがたに臨んでいるのである。

啓11:15 第七の御使いがラツパを吹いた。すると、天に大声があつて言った、「世の王国は、私たちの主と彼のキリストの王国となった。彼は永遠にわたって王として支配される」。

1. 神の王国は神の支配、統治であり、そのすべての祝福と享受があります。

コロサイ1:13 御父は私たちを暗やみの権威から救い出して、彼の愛する御子の王国に移してくださいました。

2. 王国は、神が彼の権威を行使する領域であり、それは彼が彼の栄光を表現するためです。

マタイ6:10 あなたの王国が来ますように。あなたのみこころが天で行なわれているように、地でも行なわれますように。

神が彼の目標に到達する唯一の道は、王国を通してです。…神の王国が福音の目標です。

B. 宇宙における根本的な問題は、神の権威に対する反逆です。人は墮落したとき、神に反逆し、神の権威をわきに置き、神の権威を否み、神の支配を拒絶しました。

イザヤ14:12 暁の星、夜明けの子よ、おまえは天から落ちてしまった！ 諸国民を打ち倒した者よ、おまえは地に切り倒されてしまった！13 おまえは心の中で言った、『私は天に昇ろう。私は神の星の上に、私の座を高く上げよう。私は北の果てにある集会の山に座ろう。14 私は雲の高い所の上に昇ろう。私はいと高さ方のようになろう』。

C. 王国の福音を通して、神は人を、天的権威の支配の下にもたらしめます。それは、彼らが彼の王国となるため、すなわち、彼の権威によって支配されている人になるためです。

啓1:6 私たちを王国とし、彼の神また父の祭司としてくださった方に、栄光と権能が永遠にわたってあるように。アーメン。

D. 新約での福音の宣べ伝えは、王国について語ることです。神の王国は真の福音ですから、福音を認識するには、王国を認識する必要があります。

使徒8:12 しかし、ピリポが神の王国とイエス・キリストの御名の福音を宣べ伝えているのを彼らは信じて、男も女もバプテスマされた。

王国の福音は反逆的な罪人を召会の中へともたらしめます。しかし今や私たちは、召会の実際が何であるかを見る必要があります。召会の実際は王国です。あなたが召会のために救われ、洗われ、再生されたなら、それはあなたが王国の実際のためにこれらの事を経験したことを意味します。

人をこの世から出て来させて、天の王国へと入らせる道は、今日の浅薄な福音によるのではなく、天の王国の福音によります。…王国の福音は、罪の赦しや命の分け与えを含むだけでなく、悪鬼どもを追い出したり、病をいやしたりする来たるべき時代の力を伴う天の王国をも含みます。罪の赦しと命の分け与えは、両方とも王国のためです。

E. 福音は王国のためです。福音が告げ知らされるのは、反逆的な罪人が救われ、資格づけられ、装備されて、神の王国へと入るためです：

1. 命の福音、恵みの福音、救いの福音は、すべて王国のためです。王国が中心、車軸です。

ヨハネ3:16 神はそのひとり子を賜ったほどに、世の人を愛された。それは、彼の中へと信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を持つためである。

使徒20:24 しかし、私が自分の行程と、主イエスから受けた務めを全うして、神の恵みの福音を厳かに証しするためには、自分の命を尊いとは思いません。**4:12** この方のほかに、救いはありません。私たちが救われるべき名は、この名のほか、天下のだれにも与えられていないからです」。

2. 王国の福音は、人々を神の救いへともたらすだけでなく、また王国へともたらしめます。王国の福音の強調は、神の天的支配と主の権威にあります。

3. 王国の福音は、信者たちを神聖な支配の領域へともたらしめます。それによって彼らは神聖な王国の中で、神聖な命の祝福にあずかります。

1テサロニケ2:12 それはあなたがたが、ご自身の王国と栄光の中へと、あなたがたを召しておられる神にふさわしく歩くためです。

福音は神によって計画され、約束され、達成されました。福音はすべての信者を救いに至らせる神の力です。それは、彼らが神に和解させられ、神によって再生され、神の子供たちとなり、彼のすべての豊富と祝福を彼らの嗣業として享受するためです。ですから、これは神の福音です。この福音は信者たちを神聖な支配の領域へともたらし、彼らに神聖な王国の中で、神聖な命の祝福にあずかせます。

それゆえ、それはまた神の王国の福音でもあります。

F. マタイによる福音書で、王国の福音の目標は、人々を三一の神の中へと入れ、彼らを天の王国の国民とすることによって、天の王国を設立することです。

ローマ14:17 なぜなら、神の王国は食べ飲みすることではなく、義と平和と聖霊の中の喜びとであるからです。

私たちが彼を私たちの救い主として受け入れるとき、彼は私たちの中へと入って来られます。彼が私たちの中へと入って来られるのは救い主の身分においてだけでなく、また王の王の身分においてもあります。今日、彼はもはや十字架に釘づけられたキリストではありません。彼は御座の王です。…ですから、私たちは救い主を受け入れただけでなく、王の王、主の主を受け入れたのです。王の王が私たちの中へと入って来られるとき、彼の御座が同時に私たちの中へと入って来ます。彼の願いは、彼の王国が私たちの中で設立して、私たち反逆する者を彼の王国とならせることです。

G. 神は、すべての人に王国のために悔い改めるよう命じています：

マタイ3:2 言った、「悔い改めよ、天の王国は近づいたからだ」。

使徒17:30 そこで、神は無知な時代を見過ごしておられましたが、今やすべての人に、至る所で、悔い改めるべきことを命じておられます。

1. 悔い改めることの意味は、私たちがもともと反逆的で、神に逆らっていたのが、今は主に戻って服従するということです。

2. 悔い改めるとは、思いを変えて、後悔に至り、目的を転換させることです。

ルカ3:3 そこで、ヨハネはヨルダン川の周りの全地方へ行って、罪の赦しのための悔い改めのバプテスマを宣べ伝えた。だから悔い改めにふさわしい実を結べ。『私たちの父祖にはアブラハムがいる』と、心の内で言ってはならない。私はおまえたちに言う。神はこれらの石から、アブラハムに子孫を興すことができるのだ。

5:32 私が来たのは、義人を招くためではなく、罪人を招いて、悔い改めさせるためである」。

17:3 あなたがたは気をつけなさい。もしあなたの兄弟が罪を犯したなら、彼を戒めなさい。彼が悔い改めたなら、赦してあげなさい。

使徒17:30 そこで、神は無知な時代を見過ごしておられましたが、今やすべての人に、至る所で、悔い改めるべきことを命じておられます。

「悔い改める」というギリシャ語は、文字どおりには、それ以後、異なって考えること、すなわち、思いを変えることを意味します。消極面で、神の御前に悔い改めることは、罪や間違った行ないを悔い改めるだけでなく、この世とその腐敗を悔い改めること(この世は、神がご自身のために造った人々を強奪している)、また私たちの過去に神を捨てた生活を悔い改めることです。積極面で、悔い改めることは、あらゆる面で、またあらゆる事で神に立ち返って、神が人を造った目的を成就することです。ですから、それは神への悔い改めです。

3. もし私たちが悔い改めないなら、すなわち、観念を変えないなら、王国へと入ることはできません。 **5・金**

IV. 王国の福音は、すべての民に対する証しのために、人の住む全地に宣べ伝えられ、それからこの時代の終わりが来ます(マタイ24:14):

A. 王国の福音は、主の回復の中の諸召会を通して、人の住む全地にもたらされなければなりません。

Iテサロニケ1:8 すなわち、主の言があなたがたから出て、マケドニアとアカヤだけでなく、あらゆる所で響き渡っており、神に対するあなたがたの信仰も広く伝わっているので、私たちは何も言う必要がないほどです。

B. いっさいの権威は復活したキリストに与えられているので、彼は弟子たちを遣わして、すべての諸国民を弟子とさせます。彼らは、彼の権威をもって行きます:

1. 諸国民を弟子とすることは、異邦人を王国の民とならせて、この地上に、今日でさえ、彼の王国、すなわち、召会を設立することです。

Iテサロニケ1:9 なぜなら、彼ら自身が、私たちのことを言い広めているからです。すなわち、私たちがどのようにあなたがたの所へ入って行ったのか、また、あなたがたがどのように偶像から神に向きを変えて、生けるまことの神に仕えるようになったのか、

2:12 それはあなたがたが、ご自身の王国と栄光の中へと、あなたがたを召しておられる神にふさわしく歩くためです。

2. 私たちが福音を宣べ伝える内在的な目的は、諸国民を三一の神の中へともたらし、彼らを天の王国の国民にすることです。

福音の宣べ伝えは魂を獲得することではなく、人々を異なる国々から獲得して、彼らを三一の神の中へと入れ、彼らが天の王国の国民となってこの王国を建て上げることです。私たちは出て行って福音を宣べ伝えるとき、この目的を忘れるべきではありません。

3. マタイによる福音書によれば、父、子、霊の実際の中へとバプテスマされることは、天の王国を構成するためです。

4. 三一の神との結合の中へと浸し込まれ、そして自分たちの中へと造り込まれた三一の神で確立され建造された人々によってのみ、神の天的王国は構成されることができます。

ローマ6:3 それとも、キリスト・イエスの中へとバプテスマされた私たちはみな、彼の死の中へとバプテスマされたことを、あなたがたは知らないのですか? 4 こういうわけで、私たちは彼の死の中へとバプテスマされることを通して、彼と共に葬られたのです。それは、キリストが御父の栄光を通して死人の中から復活させられたように、私たちも命の新しさの中を歩くためです。

ガラテヤ5:21 ねたみ、泥酔、宴楽、そのような類の事柄です。それらについて、私は前にも言っておいたように、今もあらかじめ言っておきます。そのような事を行なう者は、神の王国を継ぐことはありません。

エペソ5:5 というのは、あらゆる行淫の者、汚れた者、むさぼる者(すなわち偶像礼拝者)が、キリストと神との王国の中では何の嗣業も持っていないことを、あなたがたは認識しており、知っているからです。 **6・土**

経験: キャンパス・ライフ編

- ① ガラテヤ5:19 さて、肉の働きは明白です。すなわち、淫行、汚れ、好色、20 偶像礼拝、まじない、敵意、争い、しつと、怒りの爆発、党派心、分裂、分派、21 ねたみ、泥酔、宴楽、そのような類の事柄です。それらについて、私は前にも言っておいたように、今もあらかじめ言っておきます。そのような事を行なう者は、神の王国を継ぐことはありません。22 しかし、その霊の実は、愛、喜び、平和、辛抱強さ、親切、善良、信実、23 柔和、自制です。このような事に反対する律法はありません。24 しかし、キリスト・イエスのものである人たちは、肉をその情と欲と共に十字架につけてしまったのです。25 もし私たちが霊によって生きているならば、霊によって歩こうではありませんか。26 虚栄に陥って、互いにいどみ合ったり、ねたみ合ったりすることのないようにしなさい。
- ② 学校の友人に王国の福音を伝えるために、まずあなたが王国の生活をする必要があります。王国の生活するには次のことに注意する必要があります:
- 人は神の王国かサタンの王国のどちらかに属しています。その中間の王国はありません。このことをよく理解してください。あなたは単純に主に従って行き、召会生活、神の王国の生活を実行してください。そうすれば、あなたは神の支配の下ですべての祝福と享受にあずかることができるのです。
 - サタンの王国において、「淫行、汚れ、好色」の話題と実態があります。神の子供としてあなたは、これらの汚れた言葉を口にするのもしてはいけません。これらの会話に参加せず、遠ざかる必要があります。エペソ4:29 腐敗した言をあなたがたの口から出すことなく、必要に応じて、建造するのに良い言だけを語り、聞く人たちに恵みを与えるようにしなさい。
 - さらにサタンの王国において、「偶像礼拝、まじない(占いを含む)、敵意、争い、しつと、怒りの爆発、党派心、分裂、分派、ねたみ、泥酔、宴楽」の話題と実態があります。飲み会や、ばか騒ぎから遠ざかるべきです。それらは一見楽しそうですが、実は多くの放蕩や淫行をもたらします。この世の中の接触を完全に断つことはできませんが、あなたは世の人と同じになり、聖別の証しを失わないように、目を見張って絶えず警戒している必要があります。エペソ5:17 こういうわけで愚かであってはなりません。かえって、何が主のみこころであるかを理解しなさい。18 また酒に酔ってはいけません。そこには放蕩があるからです。むしろ霊の中で満たされ、19 詩と詩歌と霊の歌とで語り合い、心から主に向かって歌い、朗詠しなさい。
 - 学業があなたの本分ですので、あなたは学業において主を経験し、強い証しを持ってください。そうでないと、あなたが王国の福音を伝えても彼らはそれを受け入れないでしょう。
 - あなたは召会生活の中で、「毎朝復興、日々勝利」の生活を実行してください。朝の少なくとも10分、可能であれば、30分を聖別し、主の御言葉を兄弟姉妹とともに祈り読みし、享受してください。そうすれば、あなたは毎日喜びを維持することができます。ローマ14:17 なぜなら、神の王国は食べ飲みすることではなく、義と平和と聖霊の中の喜びとであるからです。

詩歌(補充)、827番

1. 王こくが来るまでかたりましょう。
王こくが来るまでかたりましょう。
みことば解ほうし、王こくが来るまでかたりましょう。
2. みことば告げよ！ 無駄にならない。
みことば告げよ！ 無駄にならない。
たねまき、刈り取り、みことば告げよ！ 無駄にならない。
3. ふくいん！ いま、ひろくつたえよう。
ふくいん！ ひとのかおおそれず！
なまけず、つたえよう、われら寄りゆう者、ひとをおそれず！
4. かたれば、主はひとのなかへと、
かたれば、主はひとのなかへと、
かたれば、主はいり、主はひとのなかにてかたられる。
5. 刈り取る！ 満ち満ちたふくいん！
刈り取る！ 満ち満ちたふくいん！
キリストとしようかい！ 満ちたるふく音つたえ刈り取る！

1294

- 1 Come let us speak till the kingdom of the Lord comes down.
Yes, let us speak till the kingdom of the Lord comes down.
Why hold your peace? The Word release.
Let us speak until the kingdom of the Lord comes down.
- 2 Oh, loose the Word! It shall not return unto Him void.
Yes, loose the Word! It shall not return unto Him void.
Let's sow the seed, This is our need;
Loose the Word, and it shall not return unto Him void!
- 3 It's gospel time! Let us spread the gospel all around.
Yes, gospel time! We will never fear the people's frown!
God's done His work; Let us not shirk;
We're but pilgrims here, and we'll not fear the people's frown!

- 1 應當宣揚，宣揚主話使國度來臨；
盡力宣揚，宣揚主話直到國度臨。
和平福音，和平福音，
不該藏隱；不該藏隱；
應當宣揚，宣揚主話直到國度臨。
- 2 主話有能，儘管釋放，必不歸徒然；
憑信撒種，必有結果，絕不歸徒然。
殷勤撒種，必得亨通；
主話有能，儘管撒種，必不歸徒然。
- 3 這是時候！我們傳揚福音徧人間；
把握今日，傳揚福音不怕人棄嫌。
不必畏縮，主已工作！
天程旅客與主合作，不怕人棄嫌。
- 4 只管傳講，基督必在人心作見證。
我們傳講，基督就在人心作見證。
宣揚主恩，為主得人；
我們傳講，基督就在人心作見證。
- 5 莊稼已熟！前去收割不必再等候！
田已發白！前去收割不必再等候！
基督、召會，豐滿全備—
完滿福音速速傳揚，滿足人所求。